



RENKEI

第16号

2021.3

発行元

松江市在宅医療・介護連携支援センター TEL: (0852) 61-3741 FAX: (0852) 21-5377

住所: 〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

ホームページもご活用下さい >>>

松江市在宅医療介護

検索

松江市高齢者福祉計画・ 第8期介護保険事業計画の策定にあたって

松江市社会福祉審議会・高齢者福祉専門分科会 分科会長
医療法人同仁会 理事長 櫻井 照久

要介護者等を社会全体で支援する仕組みとして、介護保険制度が創設され20年が経ちます。島根県の高齢化率は34%を越え、団塊の世代がすべて後期高齢者となる、いわゆる2025年問題に象徴されるように、超高齢化社会が間近に迫っています。同時に「少子化高齢化」の到来は、「人口減少社会」が現実のものになったことを意味しています。松江市においても高齢化率は令和2年3月末現在で29.62%となっており、また全世帯に占める65歳以上の高齢者のみの世帯の割合は年々上昇し、高齢者の独居率も増加しています。将来の人口推計を見ますと、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年には、高齢化率は31.19%まで上昇すると見込まれており、高齢者の在宅医療と介護に対するニーズは大幅に高まることが予想されます。今後、「地域医療構想」と相補的に進められている「地域包括ケアシステム」の構築の中で、高齢化や病気や障がいがあっても住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援などのサービスが一体的に身近なところで切れ目なく提供できるように更に、全ての世代の方々が、多様化した医療・介護・福祉ニーズに対し、制度のはざまの中で、誰一人、取り残されないようにするための、「地域共生社会」

の構築の推進が求められています。

今回の第8期計画は、新型コロナウイルス感染症等の感染対策、近年頻発する地震・豪雨等の大規模自然災害に対する対策を計画の中に載せるとともに、2025年更に2040年を見据えた介護サービスと人的基盤の整備、介護予防・健康づくり施策の充実、認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症対策、介護人材確保や働き方の改革等の国の方針を踏まえて、松江市第8期計画は4つの大きな柱で構成することとしました。

誰もが生きがいを持って、安心して住み続けられるまち「選ばれるまち松江」を目指して、高齢になっても障がいがあっても、健やかにいきいきと、お互いに支えあいながら、安心して住み続けられるように、松江らしい地域共生社会システムの構築を目指します。市民の皆様をはじめ、保健・医療・福祉の関係機関、関係団体の皆様の連携とご支援を得て、この計画を着実に進められることを祈念します。

松江市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画は、松江市ホームページに掲載されていますので、そちらからご覧ください。

研修の動き

新型コロナウイルス感染症対策研修会 (ケアマネ協会主催・医介センター共催)



ケアマネ協会 Zoom研修を行うための会場にて

令和3年1月14日、16日・Zoom使用・44名参加・対象:ケアマネジャー
行政説明の後、「発生時の対応フロー」をもとにグループワークが行われました。

①支援者がいなくて困ったこと	<ul style="list-style-type: none">・受診、検査センターへの移動手段がない方はどのようにすればよいか、タクシー使用していいのか・本人が濃厚接触者、家族が濃厚接触者となった場合のサービスの受け入れがなくなりました
②同居家族への対応や県外からの帰省等で困ったこと	<ul style="list-style-type: none">・県外からご家族が帰省され、通所サービスを2週間休むことになり→ADLが低下した、代替えサービスに奔走した。そんななかでも感染防御策をされ受け入れてくれたサービスもあり助かった・アレクサ(音声で電話を受けることができる機器)やテレビ電話を本人、子供さんが購入して活用されたケースがあった・訪問時の配慮を行うため、県外の家族へ事前に連絡したり、説明文書を送った。
③感染症予防対策について事業所で工夫していることや困っていること	<ul style="list-style-type: none">・事業所内での感染対策マニュアル・BCPの作成・職場環境の工夫、テレワークの検討・不安に感じていることを、遠慮せずに声に出し、相談する
④研修を通して	<ul style="list-style-type: none">・グループワーク中心ならZoom、講義ならYouTube(後でみることが可能)と双方利点があるので、研修の種類によって使われたらよい。・こうやってそれぞれの場所からでも顔をみながら話し(グループワーク)が出来ること(情報共有)はすごく良い(心強い)と感じた

第8回 糖尿病対応力向上セミナー

令和3年1月23日【対象】医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー・管理栄養士・行政他32名参加
【主催】介護領域糖尿病対応力向上委員会

「個別事例から、糖尿病の疾患理解を深め、より良い支援計画の作成に役立てよう!」「他職種とのディスカッションを通じて、多角的視点を養おう!」を目的に、事例発表の後、グループワークでそれぞれの職種の立場から意見が出されました。

「施設に入るとインスリンの対応はどうなるの?」「食事制限について対応の現状は?」、「本人の望む生活は?」など、グループワークでの内容は多岐に渡りました。アンケートでは71%の方が「よかった」と回答されたそうです。

松江市介護予防ケアマネジメントに係る研修会

令和3年2月1日、5日(Zoomと来場)【対象】居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、地域包括支援センター【主催】松江市

総合事業見直しによる新制度が令和3年4月から開始するのに合わせて「松江市 介護予防ケアマネジメントマニュアル」の改訂版が作成され、研修会が開催されました。

→[松江市ホームページ](#) > [事業者向け情報](#) > [福祉・介護](#) > [介護保険](#) > [総合事業の制度見直しに関するお知らせ](#)

在宅看取り代診医システム講演会「看取りの文化の変遷とACP」

令和3年3月4日(YouTube ライブ配信と来場)【対象】医師・訪問看護師 【主催】松江市医師会

安来第一病院 院長 杉原勉先生を講師にお迎えし、講演会が開催されました。看取りの文化の変遷から、現在言われているACPについて。また、具体的にACPに取り組む指標の情報など、私たちが活動する上で、とても参考となるお話でした。

松江市医師会と講師の杉原先生のご配慮で、松江市の医療・介護を支える関係者の皆様に視聴していただけるよう、動画を作成されましたので、視聴ご希望の方は在宅医療・介護連携支援センターまでお問い合わせください。4月5日まで視聴可能です。

こんな相談をいただいています



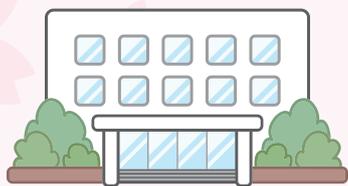
①	質問 うつ症状があり、精神科受診をされた方がよいと思う。 ども予約がとれないようだがどうすればよいか	回答 話をきいてみたところ、内科のかかりつけ医からも安定剤が処方されているとのこと。 まずは内科かかりつけ医に相談されることをおすすめしました
②	質問 尿留置カテーテル交換が出来るかかりつけ医が知りたい。自分で車椅子で受診したいので、〇〇地区でバリアフリーの医療機関があれば教えて欲しい。	回答 「島根県医療機能情報システム」で検索が可能です。各医療機関の欄にアイコンの表示があり、車椅子利用者への配慮やトイレ、視覚・聴覚障がい者への配慮等の記載があります。
③	質問 1人で受診できない方が発熱あり、新型コロナウイルス感染症の疑いもある。精神科のみにかかっておられ、相談したが検査はできない。どうすればよいか	回答 かかりつけ医がなく、受診する医療機関をおさがしの際は、松江市・島根県共同設置松江保健所内「健康相談コールセンター」【電話番号：0852-33-7638】に相談をされると、受診先の相談にのってもらえます。
④	質問 がん末期患者の服薬介助でヘルパーが訪問している。服薬の中に麻薬があり、服薬確認し、服薬していない場合は、訪問看護師に連絡。休日訪問の時など訪問看護師に連絡などどうしたらよいか。	回答 薬剤師会に確認し回答しました。 在宅・施設などは、特に何も規制するものはなく、他の薬剤と同様の扱いでよいです。病院は、麻薬管理者がいるので、その管理者在住の要件があるため厳しいが、在宅の場合は、特に何もありません。例えば、麻薬残薬があっても薬局へ持参すればよいです。破棄しても何も問われません。 ・薬剤師の相談窓口を紹介 電話 松江市薬剤師会事務局 (28-8066) に連絡するととりついて頂けます。
⑤	質問 自施設でゾーニングの研修を受けたいと思い、企画しようと思いますが、どこへ相談すればいいですか?どんな研修が受けられますか?	回答 保健所で実施された施設向けの感染症対策研修会の情報を提供しました。 その後、地域の「多職種連携会議」の集まりで、何施設かが集まり、保健所に来て頂き研修をうけられました。



Information ~活用しよう！いろいろな情報~

当センター ホームページからの情報紹介

☆認知症疾患医療センター ~松江市の3医療機関に連携型センターが設置されました~



認知症疾患に関する鑑別診断及び専門医療相談の実施など、地域での認知症医療提供体制の拠点となるセンターです。県内には基幹型(鳥根大学医学部附属病院)、地域型(一番近いところで安来第一病院)がありますが、令和2年10月に、「連携型センター」として松江青葉病院、こなんホスピタル、まつしま脳神経内科クリニックが指定を受けられました。

☆「松江市内病院 紙おむつ・入院日常生活セット使用状況 一覧表」について

入院先の病院により、使用されている紙おむつや入院日常生活セット(患者衣、タオル、口腔ケア等)などがある場合があります。入院・転院の際、患者さんが困られることのないよう、一覧表を作成しましたので、ご活用ください。

→松江市内在宅医療・介護連携支援センター>地域の医療・介護の資料集>入退院支援



☆「医療機関と地域の連携方法一覧」を更新しました

病院の各種相談窓口、病院の特徴をまとめていますので、ご活用ください。

→松江市内在宅医療・介護連携支援センター>地域の医療・介護の資料集>入退院支援

☆「有料老人ホーム医療等対応状況」の調査結果を更新します

34か所の施設のご協力をいただき、医療的ケア・食事対応・人工透析の送迎等の情報についての一覧を当センターのホームページにアップ予定です。アップ次第、一斉メールでご案内します。

→松江市内在宅医療・介護連携支援センター>地域の医療・介護の資料集>介護事業所 施設

☆「高齢者お役立ち情報」更新について (地域包括支援センター)

様々な相談機関、弁当配達、移送サービス、高齢者の施設、お住まいの地域で行われている様々な活動の情報が閲覧できる「高齢者お役立ち情報」が更新されました。

→松江市内社会福祉協議会>高齢者お役立ち情報



お役立ち情報
QRコード

☆令和2年度 入退院情報共有フォローアップ調査

鳥根県が令和2年9月に実施された入退院時における病院と在宅サービス事業所(居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション)間の情報共有に関する調査結果が、ホームページにアップされました。

今年は自由記述がたくさん寄せられたため、担当者の方が、自由記述をもとに入退院連携について「よかったこと」「困っていること」「コロナ禍における工夫と困り感」についてまとめられたものが掲載されています。

→鳥根県ホームページ

>しまねの地域包括ケア>入退院連携

